

平成 20 年 2 月 15 日

越前市就学前教育検討委員会最終報告書(提言)

検討課題（１） 旧市街地の幼稚園の在り方について

【提言】

旧市街地の公立幼稚園については、当面は現状のとおりとするが、園児数がさらに減少し、一定の集団規模の確保が困難になった場合は、旧武生市の（仮称）中央幼稚園建設基本構想の理念を踏まえつつ、既存施設の活用による統合を検討する。あるいは、その状況によっては近隣の幼稚園・保育園との統合による幼保一体化を検討することが望ましい。

検討課題（２） 地域の実態を考慮した中での就学前教育の在り方について

【提言】

公立・私立、幼稚園・保育園を問わず地域の中における就学前教育・保育の機会を保障していくことを基本とし、今後、公立幼稚園・保育園において園児の減少が予想される地区では、地域住民との話し合いを進めながら、同一地区内の幼稚園・保育園との統合による幼保一体化を推進する必要がある。

検討課題（３） 官と民との幼保の連携の在り方について

【提言】

これからの幼児教育・保育施設においては、幼児教育をめぐる現状の変化や社会的ニーズ、地域の実情を考慮し、子どもの健やかな育ちを保障するため、官と民とが連携し、一体的な幼児教育・保育を推進する必要がある。